

刘公望 主编



对症下药

解密中医处方

海藻 浙贝母 生牡蛎

青黛 海蛤壳

龙胆草 黄芩

车前子 赤芍药

珍珠母

夏枯草 生甘草

华夏出版社

对症下



解 密 中 医 处 方

100

100

100

100

100

—

R289.1
73

刘公望
主编

对症下药

解密中医处方

海藻 浙贝母 生牡蛎

青黛 海蛤壳

龙胆草 黄芩

车前子 赤芍药

珍珠母

夏枯草 生甘草



华夏出版社

图书在版编目(CIP)数据

对症下药/刘公望主编. - 北京:华夏出版社, 2008.1
(解密中医处方)

ISBN 978-7-5080-4573-3

I. 对… II. 刘… III. 验方-汇编 IV. R289.5

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 007201 号

华夏出版社出版发行

(北京东直门外香河园北里4号 邮编:100028)

新华书店经销

北京建筑工业出版社印刷

三河市万龙印装有限公司装订

850×1168 1/32 开本 16.625 印张 406 千字 插页 1

2008 年 1 月北京第 1 版 2008 年 1 月北京第 1 次印刷

定价:29.00 元

本版图书凡印刷装订错误可及时向我社发行部调换

刘公望

主编

《解密中医处方——对症下药》编委会

主 编 刘公望

副主编 (以下按姓氏笔画排列)

于 虹	于 越	王玉兴	王 璟
刘忠恕	安井广迪	庄明莲	兵头明
李乃荣	李庆和	陆小佐	陈爽白
焦 茂	樊瑞红		

编 委	王 卫	王秀云	方 玲	仲强维
	李剑宇	李 彦	肖学凤	周桂桐
	泉隆司	胡利民	真贝畅	袁红霞

监 修 张伯礼 後藤修司

序 言

此书的基本内容是笔者 1989 年给奥地利医师 Gero Missoni 等讲授中医课的讲稿。后于 1990 年至 1991 年在法国图鲁兹大学期间又作了若干补充。1996 年天津中医学院与日本后藤学园开始联合培养硕士研究生,在每年一次的日本讲学期间,又不断加以修改和补充,渐渐整理成册。

本书既不同于基础教科书,也不同于一般临床治疗书。其编写宗旨是力求融汇古今、突出重点、语言简洁,寓精深于浅易之中,读之可由此及彼,由浅入深,开卷有益,指导临证。主要面向掌握了一定中医知识的临床医师和国外学者。

本书共收集药物 463 种。以功效设具体章节,把每味药物的讲授重点放在临床应用方面,而中药的应用离不开配伍,故本书专列条目,记述配伍方法。一般药物均列“特别揭示”,旁征博引、融汇古今,以期对该药物做一全面的解释,同时也与相类药物作了比较。对使用注意也特别予以注明,冀以有效地指导临床。中药用量是个比较复杂的问题,临床根据证情、医生用药习惯、配伍的

不同,出入较大,本书记载的药量是一般常规用量。

余常思,古人将药物作用称为药性,以喻药物如人,各具性情。然为人能言语行动,其性尚难知之,药物无言无行,其性何以知之?唯靠广临证而细心体察然后可知之。中药易学而难精,可知矣。是书虽将付梓,但忧心不已,惟恐纰漏重重,故先鞠躬以拜谢高明指教。

刘公望

2007.11.1

目 录

绪 论

- 一、从神农尝百草谈起 … (1)
- 二、中药的性能 …… (4)
 - 1. 四气五味 …… (4)
 - 2. 升降浮沉 …… (6)
 - 3. 归经 …… (7)
 - 4. 有毒与无毒 …… (8)
- 三、中药的应用 …… (8)
 - 1. 配伍 …… (8)
 - 2. 用药禁忌 …… (9)
 - 3. 剂量 …… (11)
 - 4. 煎服法 …… (12)
- 四、按中药药理研究选药
…………… (14)
- 五、对症选药 …… (32)
- 六、按脏腑辨证选药 … (47)
- 七、按病选药 …… (55)

第 1 章 解表药

- 第 1 节 辛温解表药 … (84)
 - 1. 麻黄 …… (84)
 - 2. 桂枝 …… (87)

- 3. 紫苏 …… (88)
- 4. 生姜 …… (89)
- 5. 荆芥 …… (91)
- 6. 防风 …… (92)
- 7. 羌活 …… (93)
- 8. 白芷 …… (94)
- 9. 藁本 …… (95)
- 10. 香薷 …… (96)
- 11. 辛夷 …… (97)
- 12. 葱白 …… (98)
- 第 2 节 辛凉解表药 … (99)
 - 1. 薄荷 …… (99)
 - 2. 牛蒡子 …… (100)
 - 3. 蝉蜕 …… (101)
 - 4. 淡豆豉 …… (103)
 - 5. 桑叶 …… (103)
 - 6. 菊花 …… (104)
 - 7. 蔓荆子 …… (106)
 - 8. 葛根 …… (107)
 - 9. 柴胡 …… (108)
 - 10. 升麻 …… (109)
 - 11. 浮萍 …… (111)
 - 12. 木贼 …… (112)

13. 西河柳………… (112)

第2章 泻下药

第1节 攻下药 …… (116)

1. 大黄………… (116)
2. 芒硝………… (118)
3. 番泻叶………… (119)
4. 芦荟………… (120)

第2节 润下药 …… (121)

1. 火麻仁………… (121)
2. 郁李仁………… (121)

第3节 峻下逐水药… (122)

1. 甘遂………… (122)
2. 大戟………… (123)
3. 芫花………… (124)
4. 牵牛子………… (125)
5. 商陆………… (126)
6. 巴豆………… (127)

第3章 补虚药(附收涩药)

第1节 补气药 …… (132)

1. 人参………… (132)
- 【附】党参………… (135)
- 【附】太子参 …… (136)
2. 西洋参………… (136)
3. 黄芪………… (137)
4. 白术………… (139)

5. 山药………… (141)

6. 扁豆………… (142)

7. 甘草………… (143)

8. 大枣………… (145)

9. 饴糖………… (146)

10. 蜂蜜………… (147)

第2节 补阳药 …… (148)

1. 鹿茸………… (148)
2. 紫河车………… (150)
3. 蛤蚧………… (151)
4. 胡桃仁………… (152)
5. 肉苁蓉………… (153)
6. 锁阳………… (154)
7. 巴戟天………… (155)
8. 杜仲………… (155)
9. 续断………… (156)
10. 狗脊………… (157)
11. 益智仁………… (158)
12. 沙苑子………… (159)
13. 菟丝子………… (160)
14. 胡芦巴………… (161)
15. 阳起石………… (162)
16. 淫羊藿………… (162)
17. 补骨脂………… (164)
18. 冬虫夏草………… (165)

附:其他补阳药 …… (166)

第3节 补血药 …… (167)

1. 当归………… (167)

第3节 清热解毒药 … (229)

1. 金银花 (229)
- 【附】忍冬藤 (230)
2. 连翘 (231)
3. 蒲公英 (232)
4. 紫花地丁 (234)
5. 大青叶 (235)
6. 板蓝根 (236)
7. 牛黄 (237)
8. 熊胆 (238)
9. 土茯苓 (239)
10. 鱼腥草 (239)
11. 射干 (240)
12. 山豆根 (241)
13. 马勃 (242)
14. 马齿苋 (243)
15. 白头翁 (244)
16. 秦皮 (245)
17. 败酱草 (245)
18. 红藤 (247)
19. 白花蛇舌草 ... (247)
20. 白鲜皮 (248)
21. 半枝莲 (249)
22. 鸦胆子 (250)
- 附:其他清热解毒药
..... (251)
- 第4节 清热凉血药 ... (252)
1. 水牛角 (252)
2. 生地黄 (253)
3. 玄参 (255)
4. 牡丹皮 (256)
5. 赤芍药 (258)
6. 紫草 (259)
- 第5节 退虚热药 ... (260)
1. 青蒿 (260)
2. 地骨皮 (262)
3. 白薇 (263)
4. 银柴胡 (263)
5. 胡黄连 (264)
- 第5章 温里药
1. 附子 (267)
2. 肉桂 (269)
3. 吴茱萸 (270)
4. 花椒 (272)
5. 干姜 (273)
6. 小茴香 (274)
7. 高良姜 (275)
8. 丁香 (276)
9. 细辛 (276)
10. 萆薢 (278)
11. 萆澄茄 (278)
- 附:其他温里药 ... (279)
- 第6章 理气药
1. 橘皮 (282)

2. 青皮 (283)
3. 枳实 (284)
4. 佛手 (286)
5. 木香 (287)
6. 香附 (288)
7. 乌药 (289)
8. 沉香 (290)
9. 川楝子 (291)
10. 荔枝核 (292)
11. 薤白 (293)
12. 檀香 (294)
13. 柿蒂 (294)
- 附:其他理气药 ... (295)
13. 桃仁 (313)
14. 红花 (314)
15. 五灵脂 (316)
16. 牛膝 (317)
17. 穿山甲 (318)
18. 廔虫 (319)
19. 水蛭 (320)
20. 虻虫 (321)
21. 降香 (322)
22. 泽兰 (323)
23. 王不留行 (324)
24. 刘寄奴 (325)
25. 苏木 (325)

附:其他活血化瘀药

..... (326)

第7章 理血药

第1节 活血化瘀药... (299)

1. 川芎 (299)
2. 乳香 (301)
3. 没药 (302)
4. 延胡索 (303)
5. 郁金 (304)
6. 姜黄 (305)
7. 莪术 (306)
8. 三棱 (307)
9. 丹参 (308)
10. 虎杖 (310)
11. 益母草 (311)
12. 鸡血藤 (312)

第2节 止血药 (328)

1. 大蓟 (328)
2. 小蓟 (328)
3. 地榆 (329)
4. 白茅根 (330)
5. 槐花 (331)
6. 侧柏叶 (332)
7. 仙鹤草 (333)
8. 白及 (334)
9. 棕榈炭 (335)
10. 三七 (336)
11. 血余炭 (337)
12. 茜草 (338)

13. 蒲黄…………… (339)
14. 卷柏…………… (340)
15. 艾叶…………… (341)
16. 灶心土…………… (342)
- 附:其他止血药 … (343)

第8章 祛风湿药

1. 独活…………… (346)
2. 威灵仙…………… (347)
3. 防己…………… (348)
4. 秦艽…………… (350)
5. 豨莶草…………… (351)
6. 木瓜…………… (352)
7. 络石藤…………… (353)
8. 桑枝…………… (354)
9. 桑寄生…………… (355)
10. 五加皮…………… (356)
11. 白花蛇…………… (357)
12. 伸筋草…………… (358)
- 附:其他祛风湿药
…………… (359)

第9章 芳香化湿药

1. 苍术…………… (362)
2. 厚朴…………… (363)
3. 藿香…………… (364)
4. 佩兰…………… (365)

5. 砂仁…………… (366)
6. 白豆蔻…………… (367)
7. 草果…………… (368)

第10章 利水渗湿药

1. 茯苓…………… (372)
2. 猪苓…………… (373)
3. 泽泻…………… (374)
4. 薏苡仁…………… (376)
5. 车前子…………… (377)
6. 滑石…………… (378)
7. 木通…………… (380)
8. 通草…………… (381)
9. 金钱草…………… (382)
10. 海金沙…………… (383)
11. 石韦…………… (384)
12. 篇蓄…………… (384)
13. 瞿麦…………… (385)
14. 萆薢…………… (386)
15. 茵陈蒿…………… (387)
16. 赤小豆…………… (388)
- 附:其他利水渗湿药
…………… (389)

第11章 化痰药

1. 半夏…………… (392)
2. 天南星…………… (394)

3. 白附子 (395)

4. 白芥子 (397)

5. 桔梗 (398)

6. 旋覆花 (399)

7. 白前 (400)

8. 前胡 (401)

9. 瓜蒌 (402)

10. 贝母 (403)

11. 天竹黄 (404)

12. 竹茹 (405)

13. 竹沥 (406)

14. 海蛤壳 (407)

15. 海藻 (408)

16. 昆布 (409)

17. 胖大海 (410)

附:其他化痰药 ... (410)

第12章 止咳平喘药

1. 杏仁 (414)

2. 百部 (415)

3. 紫菀 (417)

4. 款冬花 (417)

5. 苏子 (418)

6. 桑白皮 (419)

7. 葶苈子 (420)

8. 枇杷叶 (421)

9. 马兜铃 (423)

10. 白果 (424)

附:其他止咳平喘药

..... (425)

第13章 安神药

1. 朱砂 (428)

2. 磁石 (429)

3. 琥珀 (430)

4. 龙骨 (431)

5. 酸枣仁 (433)

6. 柏子仁 (434)

7. 远志 (434)

8. 合欢皮 (435)

9. 灵芝 (436)

10. 紫石英 (437)

第14章 平肝息风药

1. 羚羊角 (439)

2. 石决明 (441)

3. 牡蛎 (442)

4. 珍珠 (443)

5. 代赭石 (444)

6. 钩藤 (445)

7. 天麻 (446)

8. 刺蒺藜 (448)

9. 决明子 (449)

10. 全蝎 (450)

11. 蜈蚣 (451)

12. 白僵蚕 (452)

13. 地龙 (453)

附:其他平肝息风药
..... (454)

第15章 开窍药

1. 麝香 (457)

2. 冰片 (459)

3. 苏合香 (460)

4. 石菖蒲 (461)

第16章 消食药

1. 山楂 (464)

2. 神曲 (465)

3. 麦芽 (466)

4. 莱菔子 (467)

5. 鸡内金 (468)

第17章 驱虫药

1. 使君子 (472)

2. 苦楝皮 (472)

3. 槟榔 (473)

【附】大腹皮 (475)

4. 南瓜子 (475)

附:其他驱虫药 ... (476)

第18章 外用药

1. 硫黄 (480)

2. 炉甘石 (481)

3. 孩儿茶 (482)

4. 斑蝥 (483)

5. 毛茛 (484)

6. 大蒜 (485)

7. 蛇床子 (486)

8. 蟾酥 (487)

9. 马钱子 (488)

10. 露蜂房 (489)

11. 丝瓜络 (490)

12. 血竭 (491)

13. 樟脑 (492)

14. 瓦楞子 (492)

15. 守宫 (493)

16. 常山 (494)

17. 皂角刺 (495)

附:其他外用 药 ... (496)

附:矿物类外用 药的主要
化学成分 (500)

中药物类分属参考资料

..... (501)

药名索引

..... (509)

绪 论

中药泛指自然界出产的一部分天然药,粗略地分为植物药、动物药、矿物药以及这些药物的加工品。因为在诸药中,以植物药最多,所以古来相沿把它叫做“本草”。由于“本草”的应用是以中医基本理论做为指导,且有着独特的理论体系和应用形式,所以自清朝西学东渐后,人们称之为中药。因此,中药学的含义是指中国固有药物学。

中药学是专门研究中药基本理论和各种中药的来源、采集、性能、功效及应用方法等知识的一门学科,是中医学的一个重要组成部分。

中医学理、法、方、药的理论体系是由药物组成处方,形成某种治法,与辨证结论结合起来针对某种证候完成治疗过程。因此,中药学在中医辨证论治理论体系中占有至关重要的位置。

一、从神农尝百草谈起

中国药物学发源很早,正式文字记载可追溯到公元前一千多年,西周时(公元前 1066 ~ 771 年)已有专业的“医师”来“聚毒药以供医事”。根据《淮南子·修务训》的记载,药物学的创始人是神农氏,说他“尝百草,一日而遇七十毒”。这说明了药物学起源于远古人类卫生保健的实践活动之中。

到了秦汉时代(公元前 221 年 ~ 公元 220 年),中国医学原典《黄帝内经》的出现,不仅创造了中医学理论体系,而且总结了“四

气”、“五味”等药物学理论,为后世药物学的发展奠定了基础。

东汉末年,中国第一部药学专著《神农本草经》问世,它总结了公元2世纪以前的用药经验和药学知识。全书共分3卷,载药365味,根据药物的功用分为上品、中品、下品三类。当时认为,有补益作用、无毒、可以久服的药物120种列为上品;能治病补虚、有毒或无毒、当斟酌使用的药物120种归为中品;专主治病、多毒、不可久服的药物125种纳为下品。这是药物按功用分类的创始。书中所记载药物的疗效,大多朴实有验,沿用至今。如人参益智,常山截疟,黄连治痢,苦楝驱虫,麻黄定喘,当归调经,阿胶止血,乌头止痛等都是确有实效。而且该书还简要记述了中药学的基本理论。《神农本草经》的问世奠定了中药学的基础,使后世医家得以在此基础上不断补充发展。

梁代陶弘景(公元456~536年)以《神农本草经》为基础,加以整理注解,并增加新药365种,著成《神农本草经集注》。全书共载药730种。它创用了按自然属性分类的新方法。并首创“诸病通用药”,如治风用防风,治黄疸用茵陈等。

以上两部药学著作可谓中药学的经典,自此公元6世纪以降历代最富影响的药学专著可列举如下:

《新修本草》(即《唐本草》),是公元659年唐王朝敕令李勣、苏敬等人以《神农本草经集注》为基础,增订补充编撰而成的,共收载药物850种,新增120种,其中不少是进口药,如安息香、胡椒等。书中有药图及图经,是本草附图的创始,这种图文对照的方法,开创了世界药学著作的先例。该书是以国家的名义修订和颁布的,所以是中国第一部药典,也是世界上最早的一部药典。它比公元1542年欧洲纽伦堡药典早800余年,并早在公元731年就已传入日本。日本古代史书《延喜式》中有“凡医生皆读苏敬《新修本草》”的记载,可见这部书对世界医药学的发展做出了重要贡献。